

#### 第 44 回 鳥取県がん征圧大会での質問まとめ

Q：ピロリ菌はどのような経路で感染していくのでしょうか？

また、再感染することもあるとの事ですが、再感染の予防はありますか？

PDDとペットは異なるものですか？（65歳 女性）

A：経口感染といいまして、飲水などから感染すると言われていています。再感染の場合も経口感染になると思います。したがって、食べ物を口うつしで与える（お孫さんなど）ことは避けた方がいいかと思います。PDDは癌の蛍光診断ですのでペットとはことなるものです。

Q：ピロリ菌除菌により、胃がん発生を防ぐことができるということですが、反面大腸がんにかかりやすくなると聞いたことがあるのですが、それは、ピロリ菌がなくなった影響なのか大腸の検診をしていないため発見がおくれたためなのか、どうなのでしょう  
か？（58歳 女性）

A：いろんな諸説があるようですが、除菌で大腸癌になることを厳密に実証されてはいない  
と思います。ピロリ菌の有無にかかわらず、大腸癌検診は定期的に行うことをおすすめす。

Q：PDD有効な症例は高分化型だけでしょうか？

Sig negative とのスライド（テキスト中）低分化型で PDD 有効でない理由とメカニ  
ズムを教えてください。

PDD、転移性がんでは有効ですか？（62歳 女性）

A：臨床研究の段階ですが高分化型で蛍光が強いようです。ご指摘のように低分化では蛍光  
が弱いのですが、この理由（メカニズム）については研究中です。赤蛍光の源はポルフィリ  
ンですので、低分化では少ないものかと思われます。PDD を転移性がんでは調べたことはあ  
りません。PDD だけでなく、より高感度でがんの発見ができる方法がのぞまれます。